

俳句

晩夏光

木々朗

ワインゼリー掬い涼風待ち至る
冷酒酌む薩摩切り子の手応えに
杉山や整然として晩夏光
妙高の短かき夏を惜しみけり
風渡り来てゐる秋を見過ごさず

葉月雑詠

細田安治

コロナ禍で 踊りと祭り すべてなし
海遊び クラゲ^{こぶ}恐しや 土用波
何故来ない ご先祖不機嫌 線香なし
玉音に 戦争終わる 疎開先
この夏は 暑中伺い なに想う
快適の お返し恐し 温暖化



妙高市 いもり池

出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>